

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9 五反田パークサイドビル5F

2018年11月30日発行 第22号 (季刊・毎年2, 5, 8, 11月発行) 発行人: 西村友伸 編集人: 徳永英樹/堤 正浩

CLASSIC

TEL 03-5488-6777 FAX 03-5488-6779 E-mail info@classic.or.jp https://www.classic.or.jp/

本紙タイトルの「ポンプ&クラシックス Pomp and Classics」とは、英国の作曲家エドワード・エルガーの名曲「威風堂々(Pomp and Circumstance)」のタイトルを転用し、華やかにクラシック音楽を盛り上げていきたいとの想いから付けられました。

INDEX

P.1 アプリ「チラシクラシック」スタート

P.2 Topics 関西地区連絡協議会/地域創造フェスティバル2018

P.3 Activities

P.4 What's New 会員情報/今後の活動予定

P.5 会員一覧

P.6 エッセイ 吉田純子さん「音楽の現場を歩くということ」第3回

クラシック公演チラシをアプリで 「チラシクラシック」スタート!

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、賛助会員である株式会社イープラスの開発・運営支援のもと、クラシック公演のチラシや情報をスマートフォンで検索・閲覧、チケット購入できるアプリ「チラシクラシック」を2018年10月25日にスタートしました。

○開発に至る経緯

クラシック公演では、紙のチラシは最も重要な広報手段の一つですが、「コンサート会場に足を運ばなければ手に入らない=コンサートにあまり来ないお客様へ広報しづらい」「若いデジタル世代への訴求力に欠ける」といった積年の課題がありました。

これを解決するため、当会では委員会を組織し、昨年から一年かけて議論を重ね、現代の社会生活で最も身近なスマートフォンを活用することで、もっと便利に多くの公演と出会えるよう、アプリ「チラシクラシック」の開発に至りました。

開発にあたっては、株式会社イープラスの先行アプリ「チラシミュージアム」(美術館・博物館のチラシを掲載。2014年スタート、約40万人が利用)のノウハウを活用させていただきました。

○クラシック音楽普及のために

「チラシクラシック」は、当会のクラシック音楽普及事業として、重点的に取り組んでまいります。ご賛同頂いた全国のクラシック公演主催者からオンラインでチラシを登録頂く際は、できるだけ多くのチラシをご掲載いただけるよう、掲載料は無料といたしました。アプリのダウンロードも無料です。

また、昨今はアニメ、ゲームや映画音楽とオーケストラのコラボレーションやSNSを積極活用する演奏家が増えていることから、デジタル化されたチラシのビジュアルを活用した、若年層へのクラシックコンサートの情報提供を行うことで、新たな若いファンの獲得による集客拡大を図り、公演にいらしたお客様への紙のチラシ配布での相乗効果を目指しております。

○今後の目標と展開

10月25日のスタート時は関東・関西・東海エリアを中心に

600公演以上のチラシが掲載されましたが、今後は常時1000チラシの掲載、アプリを利用するユーザーは早い段階で10万人を目指しています。検索機能はありますが、ユーザー毎にカスタマイズして好きな公演を見つけやすくする、アプリ限定の招待などのサービスを今後予定しています。

多くの皆様のご利用を心よりお待ちしております。

■公式サイト <http://eplus.jp/ccl/>

■チラシ掲載 <https://ccla.eplus.jp/>



■アプリの主な機能



チラシ画像の保存可



裏面も掲載



公演情報&チケット購入



会場アクセス&地図



チラシをシェア



検索も充実

Topics

関西地区連絡協議会

「関西の芸術文化振興に向けた協会の提言について」

関西地区会員の積極的な交流と、文化芸術の発展に寄与すべく設置された関西地区連絡協議会の今年の第1回協議会が7月19日に、ザ・シンフォニーホールにて開催されました。今年の協議会のテーマは「関西の芸術文化振興に向けた協会の提言について」と題し、関西経済同友会芸術・文化委員会が2016年に提言した「これからの大阪の都市魅力創造に向けて」を追い風とし、クラシック音楽に特化した業界の提言を関西地区連絡協議会にて取り纏める事とし、協議会内部にワーキンググループを設置し、2019年の2月を目処に取りまとめる方針が説明されました。その他にも、協議会の運営方法や、いずみホールとの共催による人材育成事業の報告、会員間のビジネスアライアンスの事例等が報告される他、支部組織への改組意見や、関西地区での総会誘致等、活発な意見交換がなされました。当日は正会員5社9名、賛助会員3社5名、役員・事務局4名の、計18名の参加を得て、ザ・シンフォニーホール様の全面協力のもと、開催されました。ご協力に会員一同感謝申し上げます。



地域創造フェスティバル2018

一般財団法人地域創造では毎年、「地域創造フェスティバル」として、最新の事業紹介や公共ホールの事業・運営に役立つ情報提供等を行うイベントを開催しています。11回目となる今年は7月31日と8月1日の2日間、東京芸術劇場(池袋)にて、シンポジウム、セミナー、アーティストのプレゼンテーション等が行われました。

そのうち本会が制作受託した公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストプレゼンテーションでは、全54組・80名(ソロ・デュオ48組、アンサンブル6組)が次々と登場。同事業での経験を生かして、30分の持ち時間の中にトークや楽器体験等も交えた、オリジナリティあふれる演奏を披露しました。全国のホール等からの来場者とアーティストが直接交流する機会もあり、各地での今後の活動につながる場となりました。



シンポジウム、セミナーでは熱気あふれる議論が展開



中川賢一さん(ピアノ)のソロ

Activities

- 7月19日 平成30年度第1回関西地区連絡協議会
(詳細は2面参照)
- 7月20日 [共催事業] アートマネジメント講座“ファンづくりのイロハ”講座2
- 7月30日 心の復興音楽基金 2018年後期助成対象事業 応募受付開始
- 7月31日～8月1日 地域創造フェスティバル2018
[協会受託事業] 公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストプレゼンテーション
(詳細は2面参照)
- 8月10日 チランを活用した新規広報ツールの開発に向けた調査・研究事業 平成30年度第2回構築委員会
(詳細は1面参照)
- 8月20日 チランを活用した新規広報ツール「チラシクラシック」アプリ情報登録開始
(詳細は1面参照)
- 8月25日 事務局移転
- 8月31日 心の復興音楽基金 2018年後期助成対象事業 応募締切
- 9月4日～9日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 鹿児島セッション 始良市公演
出演:トリオ・リラ(ピアノトリオ)
- 9月13日 [共催事業] アートマネジメント講座“ファンづくりのイロハ”講座3
- 9月21日 心の復興音楽基金 2018年後期助成対象事業 支援対象事業決定
- 9月23日 [協力事業] イープラス presents STAND UP! CLASSIC FES'18
- 9月26日 アプリ「チラシクラシック」登録説明会(東京会場)
- 9月26日 アプリ「チラシクラシック」登録説明会(大阪会場)

(10月以降については次号で報告いたします)

●宝くじドリーム館

ランチタイム(トワイライト)・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。



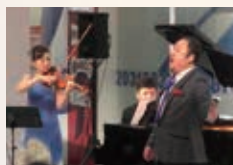
7月18日 東京

出演:菅家 奈津子/メゾ・ソプラノ(日本オペラ振興会所属)
長谷部 一郎/チェロ(プレルレーディオ所属)
御園生 瞳/ピアノ



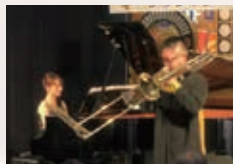
7月19日 大阪

出演:中井 亮一/テノール(日本オペラ振興会所属)
藤原 藍子/ピアノ



9月19日 東京

出演:村上 敏明/テノール(日本オペラ振興会所属)
磯 絵里子/ヴァイオリン(1002所属)
江澤 隆行/ピアノ



9月20日 大阪

出演:加藤 直明/トロンボーン(プロ アルテ ムジケ所属)
新居 由佳梨/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)

(8月は公演なし。10月以降については次号で報告いたします)



心の復興音楽基金

～東日本大震災・熊本地震の被災地に音楽を届ける支援金～

心の復興音楽基金[運営:日本クラシック音楽事業協会内]では、東日本大震災・熊本地震の被災地に赴いて演奏活動等を行う音楽家に対して必要経費(交通費・宿泊費、調律費等)を助成する事業を行っています。

〈2018年度後期の助成活動決定〉

- 2018年12月2日(日) 学校法人 東北文化学園大学「第九コンサート」(宮城県仙台市)
- 2018年12月5日(水) 南三陸町 ピティナ学校クラスコンサート(宮城県南三陸町)
- 2018年12月10日(月)～12月14日(金) セツェンアウトリーチプログラム(宮城県七ヶ浜町)
- 2019年2月10日(日) Song Project「春待ちコンサート」(宮城県名取市)
- 2019年3月9日(土) 東日本大震災復興支援チャリティコンサート～クラシックエイドvol.9(東京都 ※参加する福島県の高校生の旅費支援)



What's New

会員情報

[人事]

正会員A 株式会社クリスタル・アーツ
 相談役 佐野 光徳(代表取締役社長を退任)
 代表取締役社長 土橋 和之
 代表取締役専務 大西 陽子
 取締役チーフ・プロデューサー 本庄 朝子

正会員B 一般財団法人住友生命福祉文化財団
 理事長 野呂 幸雄

賛助会員 株式会社中京テレビ事業
 執行役員 北澤 寛(新任)
 (佐久間善也氏は取締役を退任)

賛助会員 株式会社テレビマンユニオン
 代表取締役社長 加藤 義人(変更なし)
 代表取締役専務 杉田 浩光(変更なし)
 代表取締役 中村 哲夫(新任)
 取締役 國分 禎雄(新任)

賛助会員 株式会社東京国際フォーラム
 常務取締役 小池 潔(新任)

[協会担当者変更]

正会員B エイベックス・クラシックス・インターナショナル株式会社
 新担当 小澤 直人(クラシック事業グループゼネラルマネージャー)

[移転]

賛助会員 株式会社東京MDE
 新住所 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-6 田中ビル3階
 (電話、FAXは変更なし)

[休館]

賛助会員 三井住友海上しらかわホール
 改修の為休館 2018年8月20日(月)～2019年9月13日(金)

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。



クラシック音楽事業ガイド 2017-2018

これは便利!



クラシック音楽関係者必須のガイド・ブック

●日本のクラシック音楽活動を担う音楽事務所、コンサートホール、音楽関連公益法人など、本協会会員の90法人の紹介。さらに、●アーティスト一覧 ●関連機関団体名簿 ●全国のコンサートホール名簿 ●クラシック音楽活動をサポートする企業各社の広告 など、今すぐ役立つ情報がコンパクトにまとめられています。全国の大手楽譜・音楽書取扱店ほか、協会事務局でも発売中。
 (隔年発行につき、次回は2019年発行予定)

定価■本体952円+税
 発行■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

今後の活動予定

●2019年1月10日 平成30年度第3回定例理事会、平成31年新年会
 会場:eplus Living Room Café & Diningを予定

●2019年1月下旬 平成30年度第1回会員研修会
 2019年3月上旬 平成30年度第2回会員研修会

昨年度開催のテーマをより深めるため、第1回は「さまざまなお客様対応 その2」として手荷物検査・危険物対策やハードクレマー対応等について、第2回は「公演中止の際の対応策とキャンセル対処法 その2」として更なる払い戻し事例の共有や自然災害に伴う公演中止・延期等について、取り上げる予定です。詳細決まり次第会員の皆様へご案内します。

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

■12月19日 東京

小野 明子/ヴァイオリン(アスペン所属)
 高橋 多佳子/ピアノ(ミリオンコンサート協会所属)

■12月20日 大阪

白石 光隆/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)
 田中 靖人/サクソフォン(プロ アルテ ムジケ所属)

■1月16日 東京

大石 将紀/サクソフォン(オカムラ&カンパニー所属)
 新居 由佳梨/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)

■1月17日 大阪

BLACK BOTTOM BRASS BAND / ブラスバンド
 (セカンドライン所属)

■2月20日 東京

松尾 俊介/ギター(オカムラ&カンパニー所属)
 福島 青衣子/ハーブ(ミリオンコンサート協会所属)

■2月21日 大阪

新崎 誠実/ピアノ(音楽芸術家協会所属)

※3月以降も開催します。



音楽とともに働きたい人の必携書!!

クラシック・コンサート制作の基礎知識 好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価■2,160円(本体2,000円+税)お申込み・お問合わせは事務局まで。
 発行■株式会社ヤマハミュージックメディア
 制作■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、70年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けて「チラシクラシック」「子ども青少年普及プロジェクト」等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為の事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正会員〈平成30年11月30日現在〉

朝日新聞社企画事業本部・浜離宮朝日ホール
(株)アスペン
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
いずみホール
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(株)王子ホール
(有)大阪アーティスト協会
(株)大阪アートエージェンシー
(株)オカムラ&カンパニー
(株)オフィス・フォルテ
(株)音楽之友社
(公社)関西二期会

(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
Kトレーディング(株)
コンサートイマジジン
(株)ザ・シンフォニーホール
(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
(株)新演
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポプリモ
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団

(株)東京コンサート
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(公財)日本オペラ振興会
(株)ノジリスタジオ
ハーモニージャパン(株)
Hakuju Hall
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(株)ブライトワン
プラームスホール協会
(株)プレルーディオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会

賛助会員〈平成30年11月30日現在〉

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
(株)朝日放送 イベント事業部
(株)イープラス
上野学園石橋メモリアルホール
(一社)大阪交響楽団
(一財)小野文化財団
コジマ・コンサートマネジメント
サントリーホール
(学)尚美学園
昭和音楽大学
スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナーレ・アートオフィス

(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール
(株)旅工房 国際旅行事業部
(株)中京テレビ事業
(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 総合ビジネス局
(株)テレビ東京 営業局 営業・事業センター イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
東海テレビ放送(株)
(株)東京MDE(月刊ぶらあぼ)

(株)東京国際フォーラム
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
(公財)都民劇場
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局文化事業部
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公財)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
フェスティバルホール
毎日新聞社事業本部
(株)毎日放送事業局

(株)松尾楽器商会
三重県文化会館
三井住友海上しらかわホール
ミュージウエスト(株)
宗次ホール
ヤマハ(株)
(一財)ヤマハ音楽振興会
読売新聞社東京本社文化事業部
(公財)ローム ミュージック ファンデーション

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目24番9号 五反田パークサイドビル5F

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

TEL:03-5488-6777 FAX:03-5488-6779 URL: <https://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp

事務局移転のお知らせ

事務局を下記に移転いたしました。

記

〔新住所〕 〒141-0022
東京都品川区東五反田5-24-9五反田パークサイドビル 5F

〔新TEL〕 03-5488-6777 〔新FAX〕 03-5488-6779

(電話およびファックス番号が変わりました。)

以上



【五反田駅】JR東口／都営浅草線A7出口／東急池上線出口から、徒歩約3分。
桜田通りから花房山通りへ入り、1階に(株)ワースの看板のあるビルです。

音楽の現場を歩くということ

吉田純子《第3回》

この連載の第1回で、音楽学を学んでいた私が、なぜ音楽ジャーナリズムを志すようになったかということを書いた。「こんな面白い世界を、音楽学者たちの内輪の世界に閉じこめ、独占しているなんでもったいない」と思ったということ。

新聞社に入って約20年。記者として音楽家のインタビューや現場取材をするようになったのは、せいぜいここ10年くらいのことだ。しかし、この思いが単なる「原点」にとどまらず、さらに強いものになっていることを、年を経るごとに感じている。各地の高校などから講演に招いていただいたりする機会が、時折ある。そのたびに、多くの音楽の先生たちが「音楽を通じ、子どもたちにどう『世界』を伝えられるか」という試行錯誤にいかにか真剣に向き合っているか思い知り、心を動かされている。歴史の本質や世界の多層性を伝える教育の現場において、音楽が重要な要になれるということ、現場の音楽教師たちは直感している。しかし、実際にどうすればよいのか。そこをつなぐ方法が見つからない。

そうした現場の教師たちのヒントになる記事や話題を提供することも、現在の新聞記者やジャーナリストの仕事なのではないか、とこのところ思うようになっていく。モーツァルトの「フィガロの結婚」を1回でも聴けば(観れば)、フランス革命前夜、時代の転換機ならではのざわめきを五感で感じることができる。芸術や社会の主役が、ほんの10年の間に王侯貴族から市民のものへと変わってしまう。こうした奇跡のようなダイナミズムも社会の本質のひとつであると、モーツァルトの音楽は250年を超えて私たちに説得する。

そもそも、なぜ人は音楽を求めるのか。そう考えること自体が、哲学である。どの国でも民族でも、楽器といえば基本的には弦楽器、管楽器、そして打楽器だ。楽器は、目に見えぬ自然の本質を悟るために存在する。音に耳を澄ませることは、自然に心を澄ますこと。弦楽器は空気の振動を、管楽器は空気の流れを、そして打楽器は空気の波動を伝える。いずれも、音以外では体感することのできない自然のありさまである。プラトンが精神と肉体の調和のカギを音楽に見だし、ピタゴラスが天体のありようから音階を模索していた古代ギリシャの時代と、私たちは音楽を通じ、いまなお、そして永遠につながるることができるのだ。むろん、絵画や文学といった芸術にも同じような側面があるだろう。しかし、かたちに残らないからこそ、伝えられる本質がある。そしてこの矛盾こそが、音楽を「世界の窓」にしているのである。

かようなことを人前で語るとき、次から次へと私の脳裏をよぎるのは岩城宏之さん、山本直純さん、伊福部昭さん、朝比奈隆さん、吉

田秀和さんといった、この世で奇跡的にすれ違うことができた人たちのことばだ。実際にお目にかかった人も、舞台上で仰ぎ見ていただけた人も。しかし、その実在の姿以上にいま、この人たちの存在は、彼らが奏でた音楽や語った言葉により、私のなかで日々ふくらみ続けている。

最近、関西のとある高校で、伊福部昭さんがインタビューで語ってくれた「ゴジラ」の話をした。言うまでもなくゴジラは、水爆実験という人間の業が生んだ哀しき生き物である。戦時中、プロペラに使う木材を硬化させる作業のなかで放射能を浴び続けたという伊福部さんにとってゴジラは、自分の体を殺めた『文明』を踏み壊すヒーローだったという。ゴジラのテーマには、進軍をにおわせるラップは使わなかった。ゴジラが死ぬシーンでは、女声合唱で「僕らしくもないセンチメンタルな曲を書いてしまった」。

そんな伊福部さんの音楽が、2011年3月、東日本大震災の時に全国を覆い尽くした緊急地震速報のおおもとになったことはよく知られている。あの音を「作曲」したのが伊福部さんの甥で、工学者の伊福部達(とおる)さんだったというエピソードは、故人と親しかった片山杜秀さんの「線量計と機関銃」(アルテスパブリッシング)などに詳しい。伊福部さんの音楽は、人間が人を殺める装置をなぜつくり続けるのかという厳しい問いかけと、生きとし生けるものをいとおしむ人間としての矜持に導かれている。ことばが社会や概念を規定する前に、音楽は世界の本質を人々の心に強烈に刻印し、無限の多様性を持ち続けることができる。そのことをほかの何より雄弁に示すのが、安易な解決を求めることなく、四度と五度のふたつの和音を変拍子のなかで執拗に、永遠に繰り返す「ゴジラ」のあの主題なのである。

音楽への献身を自らの人生のあかしとし、光速のように駆け抜けた音楽家たちと、最後の10年くらいの時代をともに生きることができたという偶然、いや奇跡。このことの意味を、私自身ももっと深く思考しながらことばを紡ぐことで、彼らの存在を次代のDNAとし、いのちの連携に参加することができるかもしれない。そう思うことで、「言葉なき世界のことを書く」という矛盾した仕事のなかに、一縷の光を見いだすことができる気がするのである。

吉田純子

1971年和歌山市生まれ。1993年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、1996年同大学院音楽研究科(西洋音楽史)修了。在学中はピアニスト、音楽ライターとして活動。1997年朝日新聞社入社。仙台支局(警察、市政担当)、東京本社芸芸部(家庭面)、整理部(地方版)、広告局広告第4部(金融、ゴルフなど担当)、文化部(音楽、舞踊担当)、西部本社(福岡)勤務を経て、2018年4月より東京本社文化くらし報道部次長。



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,700人、登録曲 6万曲以上

古今東西のピアノ曲を集めた無料データベースです

楽曲解説、演奏動画を数多く提供中

閲覧数は年間約 2,500 万 PV



ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/

広告募集中

発行部数: 600部

配布対象: 協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(2月、5月、8月、11月予定)

料金: 1枠(天地58mm×左右92mm) 1万円(消費税別)

お問い合わせ: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5488-6777

E-mail. info@classic.or.jp